

音楽教室の講師への近道

皆さんも、一度は CM で見たことがあったり、ご自身が昔、音楽教室に通っていたと言うことがあるのではないのでしょうか？そこで今回は、子供たちと一緒に音楽を楽しむ、指導し、学んでいく、「音楽教室の講師」になるにはどのような事をすれば良いのか、講師になる前にはどのような準備が必要なのかについて、図書館でヒントを探してみましょう。

★調べるためのキーワード

調べたい事にたどり着くためのキーワードを考えてみましょう。テーマは一つでも、色々な方向から見て、たくさんのキーワードを見つけることが出来ると、様々な方向からテーマについて調べることができます。

例：ヤマハ音楽教室 音楽教室講師 音楽講師 ヤマハ ヤマハグレード グレード
試験 音楽教室 音楽教室経営 など

★キーワードをもとに図書館資料を探す

OPAC を使ってみましょう

図書館内の蔵書検索機 OPAC を使えば、当館にある本について調べることが出来ます。

考えたキーワードを入力して検索をします。

・「音楽教室の経営」塾 / 大内孝夫著

1 導入編：教えるのは誰のために？ 請求番号 764.417||OUC||1

2 実践入門編：たった2つのキーワード 請求番号 764.417||OUC||2

・生徒が1000人集まる音楽教室の作り方 / 井上幸子著 請求番号 760.7||INO

★インターネットで関連サイトを探す

インターネットは本などの資料を探すより、早く新鮮な情報を得ることが出来ます。

テーマに関連するウェブサイトをご紹介します。(2021年1月17日現在)

・キーワード：ヤマハ講師になるには

ヤマハ音楽教室ホームページ

<https://www.yamaha-mf.or.jp/t-audition/sys/>

・キーワード：音楽講師になるには

Benesse マナビジョン

<https://manabi.benesse.ne.jp/shokugaku/job/list/146/index.html>

インターネットの情報は、オンタイムで調べることが出来、とても便利です。しかし、正確性は高いとはいえません。自分が調べた情報が正しいもので有るのか、違うサイトでも調べてみるなど、二重で検索し、正しい情報を得るように心がけましょう。

★新聞・雑誌記事（論文）を探す

先ほども使った OPAC の詳細検索で、資料種別を雑誌や論文、電子化資料などを選択すると、本や楽譜ではなく、雑誌や論文を探し出すことができます。

★他の図書館の所蔵を調べる

インターネットを使って、当館以外にも調べたいことについての資料があるか調べてみましょう。

1. 国立国会図書館のホームページを使う

<http://iss.ndl.go.jp/>

国立国会図書館サーチで、国立国会図書館をはじめとした全国の公共図書館、公文書館、美術館や、学術研究機関などが提供する資料、デジタルコンテンツを総合的に調べることが出来ます。

2. CiNii Books を使う

<http://ci.nii.ac.jp/books/>

CiNii Books（サイニブックス）のホームページの**大学図書館の本をさがす**というところで、全国の大学図書館が所有する本（図書・雑誌）の情報を検索することが出来ます。

自分が住んでいる地域から近い場合は、その図書館に行き、資料を鑑覧してみましょう。インターネットを使って探した資料の他にも、ためになるような資料が見つかるかもしれません。

★キャリアセンターを利用する

当館の隣にはキャリアセンターがあります。そこでは、進路相談や就職活動について、エントリーシートを見てもらえるなど、将来についての不安や疑問を解決してくれる場所があります。キャリアセンターには常に、求人情報などが掲載されており、一般企業だけでなく、音楽関係なども豊富で、音大生が利用しやすいように工夫がされています。キャリアセンターのカウンターに行き、直接相談することも出来ます。親身になって協力してくれる場所なので、是非利用してみましょう。